

【注】感電の恐れがありますので、必ず外部電源コンセントを抜いてから作業をしてください

#### ■壁型コントロールスイッチの交換手順

- ①表面パネル（樹脂製／アイボリー色）を外します。
- ②金属パネル面にある上下2箇所の「長ネジ」を外し、壁内から「スイッチ全体（基盤一体）」を引き出します。
- ③標準的なスイッチは、壁内から配線されている電線コード（2線）と結線されています。任意の位置でコードを切断し、コード外周のビニール層を剥き（削ぎ）銅線を1.5cm程度露出させておきます。
- ④新しいスイッチには電線コード（2線）が付けられていますので、そのコードと③で加工した壁内からのコードを1本ずつ「銅線同士」をより合わせて繋ぎ合わせます。繋ぎ合わせた銅線が分離しないよう、また銅線が露出しないようにビニールテープ等で3～4重に巻き込みます。  
※圧着スリーブや圧着端子等による接続をお勧め致します。
- ⑤接続したコードとスイッチ基盤を壁内におさめて、逆手順で取り付けます。
- ⑥外部電源にコンセントプラグを差し込み、試運転を行ってください。

※給気連動タイプは電線コードが6線ありますが結線方法は同じです。



#### ■ヒューズ交換について

壁型コントロールスイッチにはヒューズが内蔵されていますが、製造年代によりヒューズの設置位置が異なります。

右写真のように「ヒューズホルダー」があるタイプは現行品です。

【ヒューズホルダーがあるタイプ】 → ヒューズ交換が可能です。

ホルダーはマイナスドライバーで押し込みながら左に90°回すと外れます。

（ガラス管ヒューズ 5.2Φ 20mm 3A） ← ホームセンターで購入可

【ヒューズホルダーがないタイプ】 → スイッチ本体の交換をお勧めします。

旧タイプでヒューズは裏の基盤内にハンダ付けされているためヒューズ交換には技量が必要です。

